

管理医療機器
機械器具 (03) 医療用消毒器
小型液体用高圧蒸気滅菌器
特定保守管理医療機器(設置)

JMDN コード:41450020

サーパスチーマー

**

【警告】

- 水平で安定した場所に設置すること。また、振動・音波・電磁波・放射線の影響を受けにくい場所に設置すること。【誤作動の恐れがある。】
- アース工事を必ず行う事。【感電の原因になる恐れがある。】
- 水につけたり水をかけたりしないこと。【ショート・感電の恐れがある。】
- 運転中や運転後は高温になっている為、手を触れないこと。【やけどの恐れがある。】
- 運転中は差込プラグを抜いたり、電源ボタンをオフにしないこと。【圧力が抜け、缶内蒸気が排出され、やけどの恐れがある。】
- 高温、高湿、直射日光及び水濡れをする場所(特に屋外)で使用しないこと。【誤作動の恐れがある。】
- 電源は必ず AC100V で 15A 以上及び AC200V で 30A 以上の専用コンセントから取ること。【誤作動の恐れがある。】
- 電源コードの差込プラグの刃を故意に曲げないこと。【接触不良により火災の恐れがある。】
- 設定温度で溶けたり、変形するものは使用しないこと。【故障・火災の原因となる恐れがある。】
- 薬ビン・ポリビンの滅菌を行う際は、カバーを取付けて運転すること。【ビンが割れる恐れがある。】

**

【禁忌・禁止】

- 生体組織が付着した器具等に対しては使用しないこと。【滅菌ができない恐れがある。】
- 強い衝撃を加えないこと。【故障、火災の原因になる恐れがある。】
- 使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜くこと。【感電、漏電火災の原因となる恐れがある。】
- 装置本体や扉の上に物をおかないこと。【傷がついたり、扉の変形の原因となる恐れがある。】
- 扉は取手を持ってゆっくりと開閉すること。【ケガや骨折の恐れがある。扉や本体が破損する恐れがある。】
- 十分冷却されていることを確認した上でゴーグル等の保護具を付けて扉を開き、滅菌物を取り出すこと。【ビンが割れて、ケガ、やけどの恐れがある。】

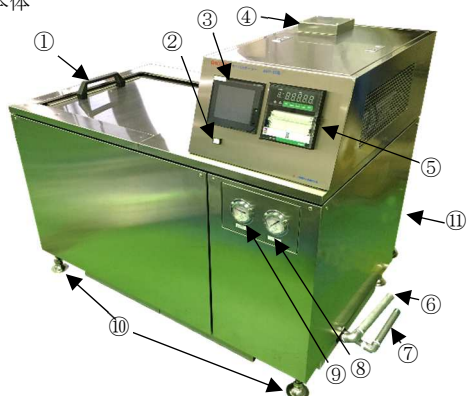
** 【形状・構造及び原理等】

1. 構成

本装置は、本体及びオプションの排水冷却ポットから構成されており、単品又はセットで製造販売される。

2. 外観

1) 本体



番号	名 称
①	取手
②	電源ボタン
③	操作タッチパネル
④	ファン
⑤	滅菌圧力温度記録計
⑥	排水口(本装置設置場所により位置が変更する場合がある。)
⑦	給水口(本装置設置場所により位置が変更する場合がある。)
⑧	圧力計ゲージ(コンプレッサー)
⑨	圧力計ゲージ(缶内)
⑩	アジャストボルト
⑪	接続コード(本装置設置場所により位置が変更する場合がある。)

2) 排水冷却ポット

排水温度を 60℃以下へ冷却する為の機器。

3. 電気的定格

- 定格電源電圧：交流 単相 100V 及び 交流 単相 200V
- 定格電源周波数：50/60Hz
- 電源入力：100V:0.7kW、200V:5.0kW

4. 原理

本装置の缶内に給水し、設定温度まで加温後、設定時間まで温度維持する事により滅菌処理を行う。

【使用目的又は効果】

高圧を有する蒸気を容器に導入し湿熱を利用し医療に使用する器具機材、液体を滅菌する装置である。

【使用方法等】

1. 基本的な使用方法

1) 使用前の準備

- 100V 及び 200V の電源コードの差込プラグがコンセントに接続されていること、及び給水管、排水管が接続されていることを確認する。
- 圧力ゲージ(缶内)が 0 を示していることを確認する。
- 電源ボタンをオンにする。

2) 滅菌物の準備

- 缶内にスノコを敷き、その上に専用アミカゴを載せ、滅菌物を入れる。
- 温度センサー(熱電対)を配置する。薬ビン、ポリビンを滅菌する際には付属のカバーを取付ける。

3) 滅菌操作

- 操作タッチパネルに確認画面が表示され、表示内容を確認後、「確認」ボタンを押す。
- 下記の表(標準設定値)を参照し、「滅菌選択」の画面にて所定のプログラムを選択する。

No.	項目	滅菌		冷却 1		冷却 2		冷却 3		備考
		温度(℃)	時間(分)	温度(℃)	時間(分)	温度(℃)	時間(分)	温度(℃)	時間(分)	
1	ビン 1(加圧無)	117	50	100	110	90	30	80	10	標準値は同じ
2	ビン 2(加圧無)	117	50	100	110	90	30	80	10	
3	パウチ 1(加圧無)	117	50	100	20	70	40	60	10	加圧の有無の違い
4	パウチ 2	117	50	100	20	70	40	60	10	
5	ポリビン 1	117	50	100	20	70	40	60	10	冷却時間の違い
6	ポリビン 2	117	50	100	30	80	40	60	20	
7	予備 1	0	0	0	0	0	0	0	0	
8	予備 2	0	0	0	0	0	0	0	0	

- (3) 画面の「滅菌開始」を押す。
 - (4) 画面の「滅菌完了」が表示されたら、缶内の温度を確認してから滅菌物を取り出す。
- 4) 使用後の作業
 - (1) 缶内を清掃する。
 - (2) 電源ボタンをオフにする。
2. 使用方法等に関連する使用上の注意
 - ・給水されていない状態で運転させると、エラーコード「A02 給水 NG」が表示されアラームが発生。

**【使用上の注意】

- ・ 以下の規定本数以上の物を入れて使用しないこと。

パウチ・パウチャー(500ml)	: 48 袋
パウチ・パウチャー(1000ml)	: 24 袋
滅菌ビン(ポリビン含、500ml)	: 32 本
滅菌ビン(ポリビン含、1000ml)	: 9 本
- ・ 本装置は常に清潔な状態を保つこと。
- ・ パウチを滅菌する際は、プログラム No.4 を選択する。プログラム No.3 は破裂保護制御が入っていない。
- ・ スノコをセットする際、4 箇所のスプレーノズルに当たらないよう注意すること。スノコを斜めにして入れ缶内にセットすること。缶にキズがつく恐れがある。
- ・ 本装置は運転によって扉が非常に熱くなっているため、取手より扉を開閉すること。
- ・ 表示されている温度を確認し、火傷しない温度で扉を開けること。残留蒸気が出る恐れがあるので、火傷には十分注意し開閉を行うこと。
- ・ フロートセンサーの部分に滅菌物が落下しないよう注意すること。
- ・ 薬ビン・ポリビンの滅菌の際は割れる恐れがある為、カバーを必ず付けること。
- ・ 扉の開閉には手や指を挟まないよう注意すること。
- ・ 扉ロック OK が出ないうちに滅菌開始を押さないこと。

【保管方法及び有効期間等】

- 1) 貯蔵・保管方法
高温、高湿、直射日光及び水濡れを避けた場所に保管すること。
- 2) 耐用年数等
設置後 10 年。「自己認証(当社データ)による」

【保守・点検に係る事項】

- ・ 配管に漏れが無いこと。
 - ・ スノコを外し、フロートセンサー、排水口に異物がないこと。
 - ・ 扉パッキンに異物、劣化がないこと。
 - ・ 圧空タンクのドレイン抜きバルブにより、定期的にドレインを抜くこと。
 - ・ 交換が必要な部品は以下のとおりである。
 - (1) 圧力計
 - (2) 扉パッキン
 - (3) エアフィルター
 - (4) 電磁弁
 - (5) その他(電気・配管用部品等)
- 部品交換を含む修理及び点検については下記製造業者に連絡すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

RACoon

三田理化工業株式会社

連絡先: 技術部

電話番号 06-6458-0971 FAX 番号 06-6458-2393